

4

《小学校 4 年生から中学生》

わたしの仕事

～将来につきたい仕事を通して、仕事観について考える～（労働）

ねらい

- ◆ 将来、自分がしたい仕事を考えることを通して、いろいろ仕事（職業）に対してどんなイメージを持っているのか、また、そのイメージはどこからきているのかを考える。
- ◆ 男だから、女だからということにとらわれずに、自分の将来の仕事（職業）について考える。

すすめ方

<第 1 時>

学習活動と内容	留意点
<p>① 一人カード 2 枚に、将来自分がしたい仕事（職業）を考えて書く。裏に自分の名前を書く。</p> <p>② 全員のカードを女子・男子・男女共に同じ職業のグループに分けて貼る。</p> <p>③ 黒板の 3 つのグループが、女子・男子・男女のどのグループかを予想する。</p> <p>④ どうしてそのように予想したのか。男女で選択肢に違いがあるのか。そしてそれはどこからきているのか。</p> <p>⑤ 社会の中ではどうだろうか。</p> <p>⑥ 男女を入れかえてみたらどうだろうか。</p> <p>⑦ 実際、いろいろな職業に男女問わずついている例を知らないか出し合う。</p> <p>⑧ 次時の予告</p>	<ul style="list-style-type: none">はじめに男女の表示をせずに裏の名前を見て黙って貼っていく。ここで子どもたちの中にあるジェンダーバイアス（ジェンダーにとらわれた考え方）を自由に出し合う。社会の慣習や克服すべき課題に目を向ける。あまり出なかったら、次回までに調べたり、家の人に聞いたりしてみようと投げかける。

すすめ方

<第2時>

学習活動と内容	留意点
① 5~6人のグループに分かれて1枚の模造紙に1枚のいろいろな場面で働いている人の写真を貼る。	<ul style="list-style-type: none">写真はカラーグラビアをカラーコピーするとよい。写真は中央に貼る。
② その写真から読みとれることや想像できること・疑問点などを <u>ブレーンストーミング</u> して紙に書き込んでいく。	<ul style="list-style-type: none">なぜ、この仕事を選んだのか。この仕事のおもしろいところは・・・。きっと、こんなことがたいへんだよ。吹き出し形式で書く。
③ グループで出た意見については発表する。	
④ ひとつひとつのグループの発表後、Tから写真について説明（新聞記事からの写真であればその記事について）を聞く。	<ul style="list-style-type: none">できるだけ身近な地域教材であればいいが、ない場合はじえんだあ・ふりいBOXのグラビアを活用する。
⑤ 授業後の感想を書く。	

*ブレーンストーミングとは・・・多くの人から一つの課題について、あらゆる角度からアイディアを出し合い、ふるいにかけること。

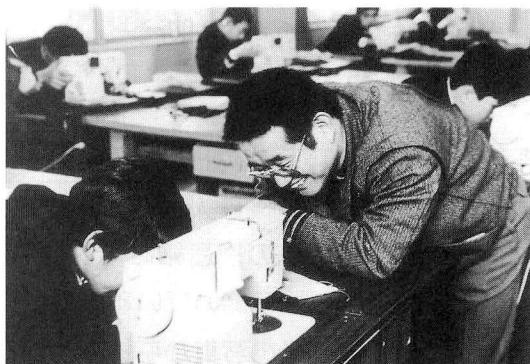
出典

『じえんだあ・ふりいBOX』(大阪同和教育研究協議会編) より

- * 資料としてつかう写真は、各支部（書記局）にある『じえんだあ・ふりいBOX』の巻頭にカラーで掲載されています。次ページを参考にしてください。
1枚ずつの解説がついています。
- * 身近に働く人の例があれば、子どもたちにとって一番いいと思います。
そして、実際に教室に来ていただいたり、子どもたちと取材にいったりするのも生きた教材としていいです。



目標は「国際審判員」



家庭科の楽しさを男の子にも



木に登る「気持ち良さ」に魅了され



今の部下から相談される側で



ダンプトラックで山を動かす



花屋さんの「売れたよ」に充実感



260kgの白バイでさっそうと



子どもの視線で保育にとりくむ



乗客の「ありがとう」に新たな自覚



「命の最前線」で高まる自覚とやりがい